

事務局から

公益社団法人東京都山岳連盟

事務局長 松本 敏

正会員、個人会員の皆様、また、関係者の皆様には、日頃の公益社団法人東京都山岳連盟の各事業、運営に対するご支援に心から感謝申し上げます。

私たち事務局は、総務部、財務部、広報部、出版部、安全・管理運営委員会、会員委員会、渉外部の5部と2委員会で構成されています。

皆様が直接目にするものとしては、ホームページの更新や都岳連通信などの刊行物の作成でしょうか。また、予算の編成や収支の管理、また、危機管理や法令順守のあり方の検討など、都岳連の根幹に関わる大切な業務を担っています。定款に定められているような実際の公益事業を展開するというより、都岳連の運営や事業を下支えする“縁の下の力持ち”と自負しています。

さて、今年度は社団法人から公益社団法人となったスタートの年です。皆様の承認と応援によってかなった公益化であり、皆様はじめ外部からの期待と信頼の高さも強く感じます。私達の社会的な使命を感じざるを得ません。当然、事務局として早急になすべきことが山積しております。

「印刷物が未だ社団法人になっている」などのおしかりを受けることがあります、事

務局員の総力を挙げてこのようなことがないよう努力しているところです。皆様には行き届きな点などお詫び申し上げると共に、事務局員の総力でこのようなことがないようにいたします。

また、この10月にはスポーツ祭東京2013（東京国体）が開催されます。事務局員も、ほぼ全員が国体実施委員会総務部員として名を連ねています。全国から会場となる東久留米市スポーツセンターに参集するアスリート達が、十分なパフォーマンスを発揮できるよう準備を進めています。

最後になりますが、長らく都岳連の活動の拠点となっていた現在の事務所を移転せざるを得なくなりました。東京駅から徒歩約10分という最高の立地であり、様々なご配慮を頂いてきた家主様には心からの感謝しつつ、現在適当な物件を探しているところです。皆様からの良い情報の提供をお願いいたします。

今後共、皆様からの温かいご支援をお願いし本稿を閉じさせて頂きます。

